

令和5年度（生田東高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 （公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	教育公務員としてあってはならない非違行為のゼロを目標とする。	毎月の事故防止会議に加え、職員打合せなどの機会を利用して服務規律の周知徹底を図り、職員間で共有した。また、職員間での相互チェックの有効性を高めるよう取り組んだ。
	教員(特に、経験の浅い職員)による不祥事のゼロを目標とする。	校内研修等により、教育公務員としての自覚や不祥事を起こさない意識・行動を醸成した。管理職との面談や機会あるごとの声かけを通じて服務規律の確保を図ることができた。
職場のハラスメントの防止	公立学校教職員として人権意識を高めるとともに、パワハラ等の理解を深め、これらを未然に防止する。	「パワー・ハラスメント」言動例、神奈川県教育委員会の職場における妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントの防止に関する指針及び教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を活用した職場研修を行い、職員の意識啓発を図った。また、風通しの良い職場づくりにつとめた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	生徒一人ひとりに対し教育者としての使命と自覚を持った言動をとり、社会通念を十分にわきまえた指導・支援を行い、事故・不祥事をゼロにする。	SNS等利用のルール等適切な利用方法をとるよう教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を活用し注意喚起を図った。管理職による校内巡回を行い、点検することで事故防止を徹底した。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、暴言等の不適切な指導をゼロにする。	職員全員が体罰等を絶対に許さないという意識を日頃から持ち続けられるよう、校内研修等を通じて注意喚起を行った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、出願書類等に係る不適切な事務処理をゼロにする。	確実な点検体制を確立し、マニュアル等を順守した適切な事務処理の徹底を図るとともに、成績処理日程を見直すことで、適切な処理日程を設定することができた。
個人情報等の管理（教務手帳の管理）、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	生徒に係る個人情報を扱う際の意識を徹底し、事故・不祥事をゼロにする。	生徒の個人情報を収集する際には、所定の様式を届け出ることや教務手帳の管理を徹底した。また、シュレッダー不使用期間を設けご廃棄の防止を図った。個人情報取り扱いの手続きをマニュアル化するよう努めた。
会計事務等の適正執行	財務規則等を遵守した適切な事務手続の徹底に努め、事故・不祥事をゼロにする。	私費会計基準等に基づき、複数職員による計画的な出納管理を徹底する。年度初めに会計担当者説明会を行い、担当者への適切な執行ルールの徹底を図った。

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守の徹底を図る。	事例の紹介・啓発ポスターの掲示などによる法令順守はもとより、特に、余裕を持った行動が事故防止につながる点を職員相互の声掛けなどにより意識させていく。 管理職との定期的な面談等を定期的に行い、交通法規の遵守を図り、教育公務員としてのモラルを植え付ける。
-----------------------------	----------------	--

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

刻々と変化し続ける現代社会に置かれている高等学校は、課題も同様に日々変化し続けている。そのような厳しい環境の中では、今までの取り組みに加え職員全体で柔軟に物事に取り組む姿勢や、不祥事防止に対する意識や気づき、個々の職員の持つ情報を速やかに共有することができたので不祥事の防止につながっていったと考える。

令和6年度については、新たな環境に対応しながらより効果的な研修を職員全体で企画し取り組むことで、事故防止に努め不祥事ゼロを目指す。

※ 課題、目標別にリスクの発生状況や行動計画の実施結果等を踏まえ、ゼロプログラム全体の達成状況を評価してください。その上で、次年度に重点的に取り組むべき課題、不祥事の未然防止、早期発見及び再発防止のために検討している方策等について具体的に記入してください。